

## 自己評価

らいざん保育園

評価基準	5:十分できる 3:できる 1:努力が必要	自己評価
総則	入園している子どもの最善の利益を考慮して保育にあたっていますか	3.4
	子ども一人一人の人格を尊重し、自らの人間性や専門性の向上につとめ豊かな感性と愛情をもって保育にあたっていますか 等	
子どもの発達	子どもの発達は豊かな心情意欲態度を身に着け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	3.7
	『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を理解し、子どもの発達の連続性に配慮して保育をしていますか	
保育の内容	保育の内容は目標を具体化したねらいと、具体化した内容から構成されていることを理解していますか	3.6
	保育所保育は『養護』と『教育』が一体となって展開されることに留意していますか	
養護に関するねらいと内容	朝の健康観察を丁寧に行ったり、一人一人の平常の健康状態を的確に把握していますか	3.5
	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか	
	「早くしなさい」などせかす言葉を不必要に使わないで、一人一人の発達過程に合わせた対応を心がけていますか 等	
教育に関するねらいと内容	園庭や散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	3.4
	子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気づけるよう援助をしていますか	
	歌ったり踊ったりして音の動きの楽しさや、様々な色・形・手触りに気づき、心地よさを感じる機会を作っていますか 等	
保育の計画及び評価	指導計画は必ず『全体的な保育の計画』に基づいて作成していますか	3.4
	指導計画(年間・月・週)が実際の子どもの姿・心情・意欲・態度に合っているか自己の保育を振り返り、反省評価及び改善点を見直していますか	
	その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもにかかわる他の職員と共有することができますか 等	
健康と安全	子どもが危険な場所や危険な遊びがわかり、安全に気を付けて行動するよう指導していますか	3.3
	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるよう雰囲気づくりや配膳の手伝いなど食事に興味をもてる工夫をしていますか	
	食物アレルギーの子どもに対し、家庭と連携しながら除去食などの配慮をおこない、誤食の予防対策としてマニュアルに沿った対応をしていますか 等	
保護者に対する支援	送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか	3.2
	あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるよう心掛けていますか 保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか 等	
職員の連携 資質向上	園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか	3.0
	職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか	
	自分の保育を振り返り、課題や問題点を見つけるとともに、その中で生じた疑問や悩みを上司や同僚に説明することができますか 等	
保育士の責務	子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れていますか	3.6
	子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心がけていますか	
	子どもの個人情報適切に扱うとともに、園内で知りえた事柄や情報に対して守秘義務を遵守していますか 等	